

令和7年7月7日

「ASUKAⅢ meets 47 都道府県」プロジェクトへの参画について

トモニホールディングスグループの徳島大正銀行は郵船クルーズ株式会社（神奈川県横浜市、代表：西島 裕司）およびアンカー・シップ・パートナーズ株式会社（東京都中央区、代表：篠田 哲郎）と連携し、徳島県のブランド力強化や地場産業の活性化などを目的として、令和7年7月20日に就航するクルーズ客船「飛鳥Ⅲ」における新企画「ASUKAⅢ meets 47 都道府県」プロジェクトに参画します。

本プロジェクトは、クルーズ客船「飛鳥Ⅲ」のミッドシップスイート47室を対象とし、各都道府県の地域金融機関等が47都道府県それぞれの特色を生かした空間をプロデュースするものです。

当行は「徳島県部屋」の空間プロデュースとして徳島県内取引先事業者等と連携し、下記の徳島県の伝統工芸品や特産品を設え、情報発信の場（富裕層へのリーチ、飛鳥ECサイトでの販売等）として発信することで本プロジェクトに参画します。

当行は今後も徳島県内の事業者をサポートするとともに、徳島県の魅力発信に取り組んでまいります。

<「徳島県部屋」の概要・イメージ>

設置場所	クルーズ客船「飛鳥Ⅲ」のミッドシップスイート（客室番号 1044）
部屋のテーマ	藍のふるさと～阿波藍の魅力
当行の目的	徳島県の伝統工芸品や特産品を設え、徳島の郷土文化に触れていただくことでブランド力強化や地場産業の活性化を図る
就航時期	令和7年7月20日（日）



木頭ゆずサイダー
株式会社黄金の村



木頭ゆず蜂蜜ポーシオン
株式会社黄金の村



釉彩茶盃(大谷焼)
OTANIYAKI tamura 1784



ミッドシップスイート
室内イメージ

<飛鳥Ⅲの運航イメージ>



(写真提供：郵船クルーズ株式会社)

以上